

考えられる項目		審議内容
河川堤防としての安全性に関する事項	想定される被害シナリオの検討	・被害を受けた場合の課題や対応方針の設定
	被害シナリオに応じた一体構造物に求められる機能確保の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川堤防としての機能確保についての検討(下記項目を想定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>耐浸透機能 (すべり破壊に対する安全性等)</li> <li>耐侵食機能 (直接侵食に対する安全性等)</li> <li>耐震機能 (地震後における外水位の越流防止等)</li> <li>地盤変状に対する機能 (圧密沈下、圧密変形への対応等)</li> <li>その他</li> </ul> </li> <li>・道路構造物としての機能確保についての検討(下記項目を想定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震機能 (地震に対する安全性、供用性等)</li> <li>構造的安全性 (圧密沈下、浮き上がりに対する安全性、供用性等)</li> <li>地盤変状に対する機能 (構造物設置、盛土による圧密沈下の抑制等)</li> <li>その他</li> </ul> </li> </ul>
施工時に関する事項	想定される被害シナリオの検討	・被害を受けた場合の課題や対応方針の設定
	被害シナリオに対する施工時の機能確保の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川堤防の機能確保についての検討(下記項目を想定)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>施工時の堤防機能の確保(仮締切堤)</li> <li>施工時における周辺影響の抑制・低減</li> <li>その他</li> </ul> </li> </ul>
完成後に関する事項	施工時のモニタリング	・施工時の確保機能を設定し、施工時の安全性確保のためのモニタリングの項目や手法の検討
	定量的評価の妥当性検証を目的としたモニタリング	・解析により実施した定量的評価の妥当性の検証を行うためのモニタリングの項目や手法の検討
	施設の管理を目的としたモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一体構造物の機能を維持するため、発生する可能性のある変状を想定したモニタリングの項目や手法の検討</li> <li>・変状メカニズムの解明を目的としたモニタリング手法の検討</li> </ul>

※審議対象: 淀川左岸線延伸部の土堤原則不適合区間を含む施工影響区間とする〔約900m〕

※審議方針: 審議にあたっては、淀川左岸線(2期)事業に関する技術検討をふまえて実施する。